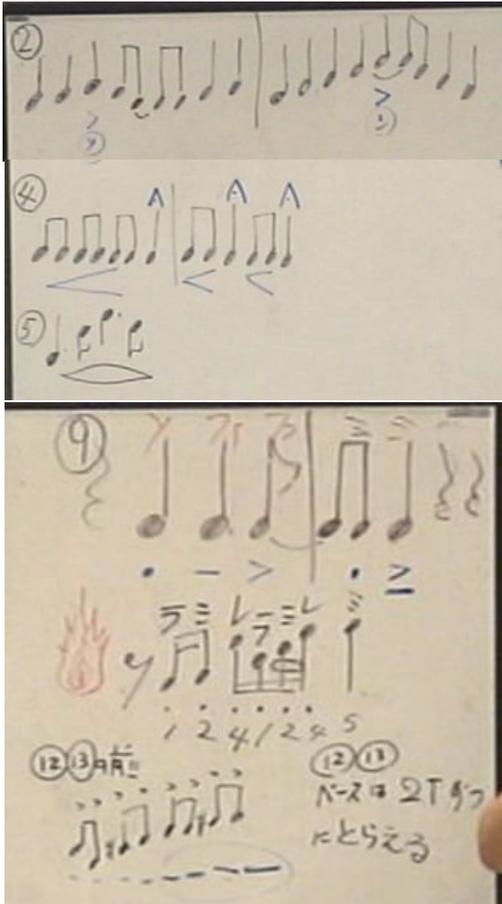


★関東アコ20周年記念企画コーナー★

“Music”合同演奏練習も中盤に入る・・・本番まであと2ヶ月！！

9月27日（日）「東村山老人ホーム・緑生館」に柴崎和圭先生ほか40名が集まり、4回目の練習を実施しました。

今回は、14:15～14:45（パート練習）、14:45～15:15（グループ練習）、15:30～17:00（全体練習）の時間配分で練習しました。



写真はホワイトボードに書かれた今回の練習課題
○数字は譜面上の練習番号です

□フレーズを感じる。

●今回は、前半の練習を重点に頭からの練習でした。

●「アコ、1,2」の方は練習番号①に入ったら4小節を基準にフレーズを感じてください。

●①から5小節に入ってから少しずつクレッシェンド、そして17～18小節でディミヌエンドです。

●③「fp」の出し方・・・ベローを思い切り

引っ張って音が出たらすぐにベローストップ！。すると、楽器の中にたまった空気の中で残響がのこり、次第に音がpになる。その「p」を大事に生かして、徐々に又音量をあげていきます。

□パートによって背景が変化します・・・

●音楽にも想像力が必要です。⑥から同じ音を伸ばす繰り返しです。アコ5パートの方は、今、波がゆれている感じと言いましたが、何でもいいんです。皆さん私より人生経験が豊富ですから、お酒によってふらついて歩いているでもいいんです。自分なりに膨らませてください。

●全パートが同じようにゆれては駄目です。アコ2パートは変化をつけないでじっと耐えて同じ音を伸ばして欲しい。

□宿題

●ホワイトボードに書かれた炎のマークが付いたフレーズ（練習番号⑨～⑩に出てくる）ここは熱い鉄板に指が触れたとき“アチッ”と素早く指を離す感覚の音が欲しい、自宅で練習する場合、最初はメトロノームでうんと遅く落として（60とか70くらい）少しずつ早くしていくことについて行けるようになります。

次回までに指慣らししてみてください。



上の写真は全体練習の様子